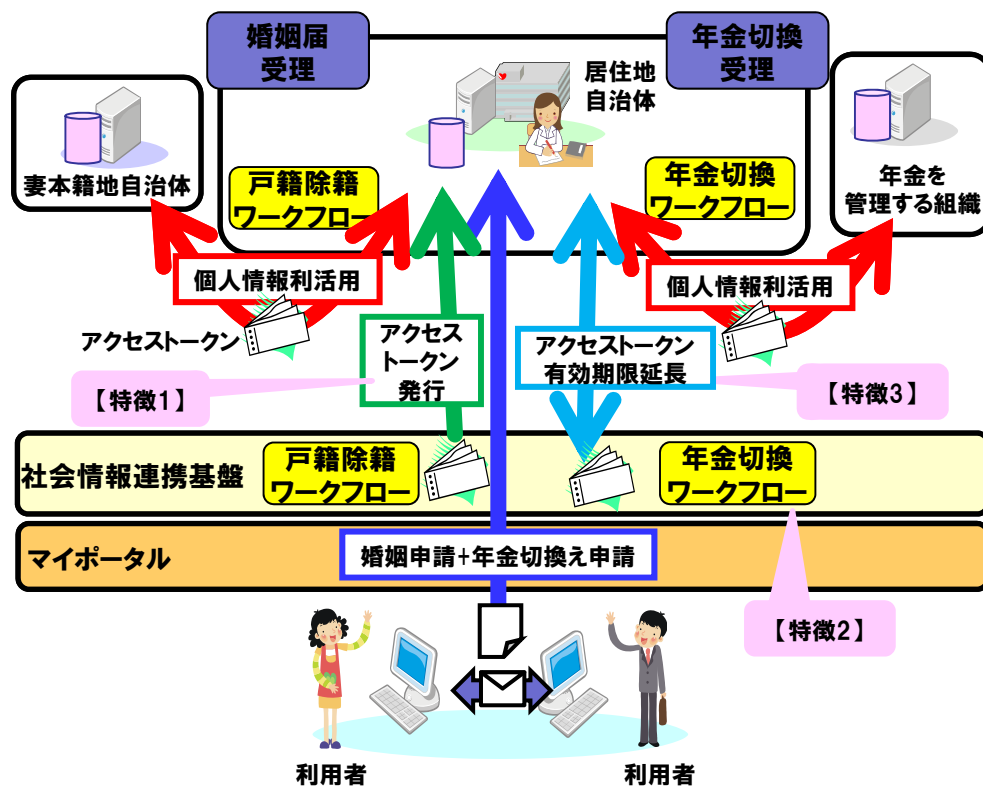


アクセストークンを使用したアクセス制御技術

公共サービスをオンラインで安全・手軽に利用

アクセストークン（個人情報へのアクセスを利用者本人が許可したことを示す電子情報）を集中管理する技術です。本技術を利用することで、自治体などの公共機関で管理されている個人情報を、他の公共機関に安全に流通し、利活用できるようになります。これにより、従来は役所に赴いて手続きしなければならなかった公共サービスがオンラインで利用可能になります。

婚姻届と年金切換えをオンラインで行う例



特徴

- 【特徴1】アクセストークンを集中管理することで、自治体などの公共機関で管理されている個人情報を、他の公共機関に安全に流通し、利活用できるようになります。
- 【特徴2】公共サービスには根拠となる法令が存在します。法令の通りにワークフローを記述することで、アクセス権の設定が正しいことを明確に示すことができます。
- 【特徴3】アクセストークンには有効期限が設定できますが、災害時やシステム保守時に、基盤側で集中的にアクセストークンの有効期限の延長ができます。

利用シーン

- 従来は役所に赴き、書類を揃えた上で申請する必要があった公共サービスを、オンラインで利用できます。例えば、結婚する際の婚姻届の提出や、結婚に伴う年金切換えをオンラインで申請できます。